



JAL不当解雇撤回ニュース

No469号 2015.11.30
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>



各労組との団体交渉が重ねられる11月、東京都品川区天王洲アイルにあるJAL本社前で5日間の座り込み行動とデモ & 本社要請が行なわれました。座り込みには延べ500人を超える人が参加。2階スカイウォークでの宣伝行動は初めて。本社の入る野村不動産ビルで働く人たちや、ビルを訪れる人々に不当解雇の実態、そしてJALの現状を訴えました。座り込み初日には稲盛名誉顧問が本社で目撃され、また3日目には年2回の経営協議会があり、植木社長以下重役たちに、大勢の支援者が存在していること、争議団全員が決して諦めないことを伝えることができました。



連帯の挨拶から

- * 私は会社を変わろうと思ったことは1度もない。JALの乗員流出は異常事態だ。また123便当時を知る経験あるCAの不足は安全上大問題だ。リスクコントロールの視点に立ち戻れ。解雇者復帰は経営上不可欠だ。(元ANA機長)
- * 安全・賃金・人員計画、全ての職場で矛盾、不具合が起きている。一斉にベテランが辞めたつげが、今出ている。2010年管財人の不当労働行為以来、解雇回避努力は中断された状態だ。あの時点に戻って話し合おう。(乗員組合委員長)
- * 稲盛さん、貴方の懐はポカポカだろうが、私達は寒さが身にしみる。いつか解雇したい人にお返ししたいと言ったはずだ。いつまでも逃げるな。復帰に残された時間は多くない。(男子原)
- * 働く意欲・能力がある人を働かせない。1億総活躍社会と逆行する。戦後レジュームからの脱却、それは労働者が築いてきた権利を全て奪うこと。そして司法は権力に飲み込まれた。私たちは負けない。
- * 御巢鷹山を登ってみて乗客乗員の無念さが伝わり、シミジミ安全の大切さを実感した。520名の命を奪ったことに時効はない。



スカイウォークは公道ということで、JALは文句が言えない状況でした。JALはモノを言えない風通しが悪い職場ですが、ここは海風がビル風になり、1年中強風が吹き抜けカイロや毛布も配られました。私達はどんなに逆風が強くても、理不尽な解雇を撤回する為、奪われた尊厳・権利・生活を回復する為、諦めるわけにはいきません。

11/12

デモ & 本社要請行動



私達は何度要請を繰り返せば良いのか...

JALの話し合い拒否は世界が驚愕しています。政府も話し合いをするように求めています。働き続けたいと願う被解雇者に理由も説明せず、「イメージが湧かない。解決の糸口が見つけられない」などと真剣に向き合おうとしません。会社を破綻させたのは経営陣です。その責任を感じているなら、貴方達に代わって辞めさせられた最大の被害者165名を直ちに職場復帰させなさい！！



私達が戻ったら迷惑がかかるというのか...

【内田団長】

今年3月、役員全員争議は早く解決したほうが良いと言っていた。しかし今、JALグループ32000名を守る為戻せないと言う。全く意味不明の2枚舌だ。会社存続の為の解雇と言っていたはず、私達が戻れば迷惑どころか、必ずや健全な会社再生の為に役立つはずだ。



2010年、管財人に妨害されなかったら...

当時、労使で対等に話し合い、解雇を回避しようとしなかった。今も解決の方法が見つからないのではなく、見つめようとしていないだけ。



弁護士による解雇...

法と正義が伴って当たり前の弁護士による不当労働行為は前代未聞。「再建」と「解雇」は何の関係もない。組合潰しは明らか、未だに無視を続けているのはその証拠だ。



11月12日ILOから第3次勧告が出ました。「解決のため意義のある話し合いを行なう」事を求めています。勧告を無視し続けることは企業のコンプライアンスに反します。2015年度、史上最高益が見込まれる中、職場は疲弊し、JAL経営と職場実態はあまりにもかけ離れています。社員の気持ちが会社から離れてしまったらJALの未来はありません。一日も早く解雇問題を解決し正常な労使関係を構築していくことは急務です。それは安全運航の基盤です。その為に、駆けつけた多くの労組が最後まで支援すると力強く表明しました。